

# 驚きの高島シシ垣、今昔物語

高島市内には、江戸時代を中心に築かれた、農作物を猪・鹿などから守る「シシ垣」(石垣・土垣など)を今でも見ることができま  
す。この歴史散歩のシリーズでも、以前に「鵜川のシシ垣」を紹介しましたが、その記事を見た大  
学生から、マキノ町にもシシ垣が  
あり、卒業論文に取り上げてみた  
いと、申し出がありました。  
シシ垣は、山から現れる猪・鹿  
などが耕作地の農作物を荒らすの  
を防ぐために造られた、垣や柵の  
構築物がそもそもの始まりである

と考えます。構築物の中心は前  
述のように江戸時代の石垣・土垣・  
木柵などで、今では遺構として石  
垣や土塁を目にすることができま  
す。  
シシ垣がなぜ江戸時代に多く造  
られたかについては、江戸時代の  
幕藩体制下で各地域の新田開発が  
行われていく過程において、獣類  
の生活領域まで人間が入ることに  
なり、猪や鹿などが秋の実りの頃  
里に降りて、農作物を食荒らすこ  
とが、西日本を中心に多く見られ  
たためと考えます。

高島市内では、現在鵜川から伊  
黒、新旭町木津から日爪、そして  
マキノ町西浜のシシ垣が確認され  
ていますが、他にもシシ垣と考え  
られる垣を見かけることがありま  
す。  
マキノ資料館では次のとおり、  
高島市内のシシ垣をパネルで展示  
紹介し、併せてマキノ町西浜のシ  
シ垣の現地見学会および高橋春成  
さんによる講演会を開催します。  
ぜひ、ご来館・ご参加ください。

## シシ垣企画展示

### 展示「高島 シシ垣今昔物語」

- ▼期 間 9月12日(水) ~ 10月21日(日)  
※月・火・祭日は休館
- ▼場 所 マキノ資料館

## 関連イベント

### 現地見学会～マキノ町西浜～

- ▼日 時 9月22日(土) 10時～12時頃
- ▼場 所 JRマキノ駅前集合 (9時50分)
- ▼定 員 30人
- ▼参加費 無料  
※お申し込みは9月15日(土)までにマキノ資料館まで(電話可)。

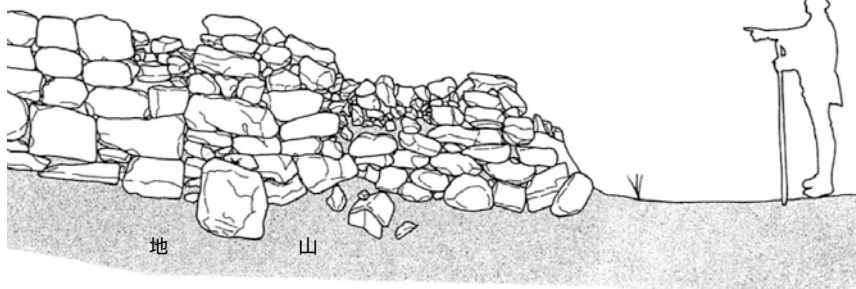
### 講演会「シシ垣の保存と活用について」

- ▼日 時 9月22日(土) 13時30分～15時
- ▼場 所 マキノ公民館
- ▼講 師 高橋 春成氏  
(奈良大学文学部地理学教室教授・シシ垣ネットワーク代表)
- ▼参加費 無料  
※当日会場にて受付

☎ マキノ資料館  
(27) 1484

## 編集者のつぶやき

先日、復旧支援のため、8月14日未明の豪雨被害にあった大津市石山外畑町へ行ってきました。現地は、土砂崩れの影響で木が倒れ、道路や水路、民家に土砂が流れ大変ひどい状況。同じ滋賀県でこのような災害が起こったことに、豪雨災害は身近なものだと改めて感じました。▼今号の特集の一つは「大雨・台風に備える」です。自然災害の発生を防ぐことは難しいですが、被害を少しでも軽減するため、事前に備えをしましょう。(広報担当S)



鵜川シシ垣実測図(石垣)